

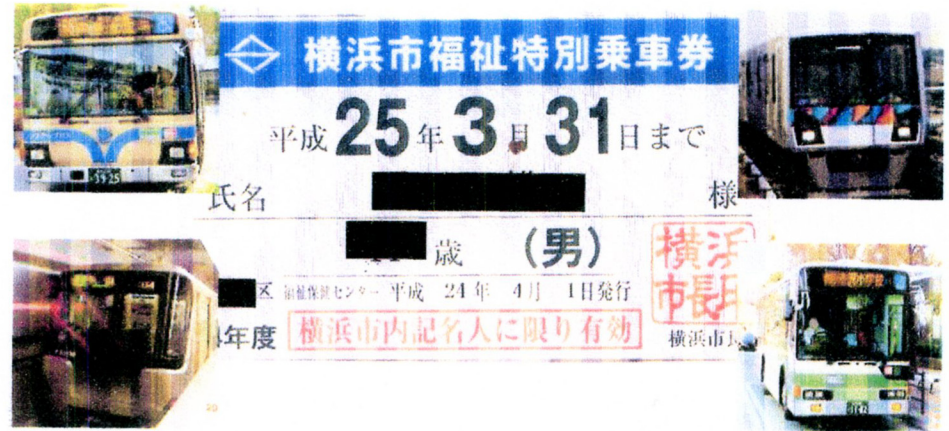
# 障害者が無料で市内のバスと地下鉄等を乗車できる福祉パス 有料化(利用者負担)は中止して!

横浜市は、障害者の外出支援として、市内のバスと地下鉄、および金沢シーサイドラインを無料で乗車できる「福祉パス」を希望する障害者に支給しています。

ところが横浜市は、この「福祉パス」の対象者を軽度の知的障害者まで広げる代わりに、市財政が厳しいという理由で有料化につながる利用者負担(年額1200円)を導入しようとしています。

市内の障害者地域作業所の平均賃金が月額6964円であり、年収(障害年金・賃金の合計)は100万円以下が56%です。

私たち障害者は移動に制限・制約を受けているため、公共交通機関が欠かせません。「福祉パス」は無料で乗り降りできるため“障害者の足”となっています。



横浜市は「サービスを受けているのだから負担することは当然」かのように言っています。しかし――

**福祉パスを利用することは「益」を受けることなのでしょうか？  
お金のない人から、お金をとることが「公平」でしょうか？**

政府が設置し、過半数以上を障害当事者で占めた「障がい者制度改革推進会議」では2011年8月、利用者負担について「障害に伴う支援は原則無償」と提言しています。

みなさん、「理解と署名への」協力をお願いします

呼びかけ団体 障害児者の生活と権利を守る神奈川県連絡協議会 / 横浜市社会保障推進協議会  
(連絡先) 〒236-0037 横浜市金沢区六浦東 1-41-3-102 上野方 電話 045-353-9771 F A X 045-353-9772